

平成 27 年 3 月 25 日

平成 26 年度 大阪府立北千里高等学校第 3 回学校協議会（概要）

【実施日時】 平成 27 年 3 月 25 日（金）15 時 30 分～17 時 00 分

【実施場所】 社会科教室

【出席委員】 6 人中の 5 人が出席

【協議概要】

1. 会長挨拶 今年度の進路実績と北千里高校の活性化について
2. 校長挨拶 新年度の体制づくりについて
3. 委員および事務局の紹介
4. 協議
 - (1) 平成 26 年度学校教育自己診断について
教頭より、生徒・保護者への質問項目ごとに平成 25 年度と 26 年度を比較し、変化がみられたものを分析。
 - (2) 平成 26 年度学校評価について
校長より、本年度の取組内容及び自己評価について、項目ごと、自己評価の内容を説明・コメント。
 - (3) 来年度学校経営計画について
校長より、次年度からは新たな 3 年計画として、学校としてやらなければならないことを精選し、目標としたことの説明。
(委員より提言)
 - ・実社会では目標を具体的に数値化するのは当たり前である。学校内の体制が目標に向かい、まとまっていることが大切である。結果がでた後、分析することは次にバージョンアップでき、学校が良くなるプロセスである。
 - (4) 本年度の教育活動について
各分掌長、学年主任より今年度の取り組みについて報告。
 - (5) その他報告
 - ・来年度より PTA 主催外部模試は全員受験
 - (6) 質疑・意見交換および提言
 - ・英語暗唱大会・弁論大会などの取り組みはコミュニケーション能力向上に向けた学習のきっかけとなっている。さらにアクティブ・ラーニングや行事「英語で一日を過ごす」など大胆な取り組みで英語力を向上してほしい。
 - ・データは 2 年間の比較だけではなく、もう少し長い間隔で見ることも必要。いろいろと考察すれば、より深いものになる。学校評価は長期的スパンで眺めることも大切。
 - ・北千里駅周辺の新規開発マンションは、めずらしく中高生を持つ世代が多い。宅地開発で地域の人口バランスが変化し、今後、北千里高校をめざす生徒が増えると思う。地域中学と連携し、FM ラジオ出演するなど地域へのアピールは必須である。学校の情報発信能力が学校評価にもつながる。周辺住環境の変化に対応した地域連携・情報発信をお願いしたい。
 - ・家庭学習を大切にする一方、学校でも自習室があれば生徒たちは利用すると思う。塾に頼らない学習指導ができるのではないか。
 - ・来年度に向け、生徒のために良い学校となるようさらに頑張してほしい。次年度の進化に期待する。